

市議会だより



2019長崎ベイサイドマラソン&ウォーク 11月16日(土)・17日(日)開催!



ながさき今昔くじら料理フェア 11月1日(金)～30日(土)開催!



戸石とらふぐ料理フェア 11月29日(金)～2月29日(土)開催!

戸石とらふぐ・かきまつり 11月24日(日)～12月22日(日)開催!

※イベントの詳細については、長崎市ホームページをご覧ください。

11月定例会の予定

11月26日(火)	本会議(招集日)
11月29日(金) 12月2日(月)～4日(水)	本会議(一般質問) (4日間)
12月5日(木)～6日(金) 12月9日(月)～10日(火)	常任委員会(4日間)
12月11日(水)	特別委員会
12月13日(金)	本会議(委員長報告等)

主な掲載内容

主な掲載内容	ページ
○出島メッセ長崎条例が可決されました 9月定例会の概要	2
○一般質問	3～5
○常任委員会における審査の主な内容	6
○議決結果、人事、請願、陳情	7
○議員派遣、行政視察など	8

本会議の様様を長崎ケーブルメディアやインターネットで生中継しています。

また、インターネットでは録画中継もご覧になれます。You Tube(ユーチューブ)でも視聴できます。

[長崎市議会](#)

[検索](#)

出島メッセ長崎条例が可決されました



▲出島メッセ長崎 完成予想図

長崎市では、学会、大会、展示会等の開催の場を提供し、国内外の人々の来訪や交流を促すことで、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図るため、令和3年11月の開業を目指し、交流拠点施設出島メッセ長崎の整備に取り組んでいます。

9月定例会では、施設の名称などを定める第109号議案「出島メッセ長崎条例」が提案され、審査の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

◆条例の概要

令和3年11月の開業を目指し、長崎駅西側に整備を進めている交流拠点施設の名称が、公募により、**出島メッセ長崎**に決定しました。今後の施設の建設と、学会・会議・イベント等の開催により、市税収入の増や雇用の誘発など、経済波及効果を見込んでいます。

条例では、施設の名称のほか、設置目的、管理方法や利用料金の基準など、公的施設として設置するために必要な事項を定めています。

出島メッセ長崎には、コンベンションホール、イベント・展示ホール、会議室等の有料施設を設け、これらの利用料金の基準は、他都市のMICE施設と比較して、競争力のある設定となっています。

また、施設内に設置する駐車場の利用料金の基準については、交通混雑の緩和を図るとともに、**出島メッセ長崎**利用者の駐車スペースを確保するため、周辺駐車場よりも高く設定しています。

今後、施設の管理運営は、利用料金制による指定管理者制度を導入し、PFI事業者の経験・ノウハウを活用しながら、集客力向上のための割引の実施を検討していきます。

◆審査結果

この議案が付託された環境経済委員会では、全国各地でMICE誘致の計画が進められていることや市が試算する雇用創出や所得向上等の効果が未知数であることから反対意見が出され

た一方、新しく決定した**出島メッセ長崎**という名称を市民等に慣れ親しんでいた、たくよう、広報等を通じて周知を図り、特定目的会社と一緒に多くのの人々に訪れてもらえるような取り組みを行いつつ、関係部局と連携しながら建設地周辺の交通に支障が生じないよう協議を進めてほしいとの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決すべきものと決定しました。

また、本会議では、委員会と同趣旨による反対意見が出された一方、**出島メッセ長崎**が国内外からさまざまな来訪者を受け入れることで、長崎市に産業や文化を創出する役割を担う新しい出島となるよう、まずは施設整備を滞りなく進め、しっかりと施設の内容を周知しながら、国際的なMICE誘致に取り組んでほしいとの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

長崎市議会事務局 Facebook

議会の動きを発信しています。
平日は毎日更新中！



長崎市議会事務局キャラクターバティさん

9月定例会の概要

令和元年9月定例会を次のとおり開催しました。

9月2日	本会議（議案上程 （委員会付託））
9月5日	本会議（市政一般質問）
9月6日	本会議（市政一般質問）
9月9日	本会議（市政一般質問）
9月10日	本会議（市政一般質問）
9月11日	常任委員会
9月12日	常任委員会
9月13日	常任委員会
9月17日	本会議（議案上程 （委員会付託）） 常任委員会
9月18日	特別委員会
9月20日	本会議（委員長報告等）

●議決結果（詳細はP7）

市長提出議案 可決37件

（うち人事案件同意3件）

専決処分承認3件、専決処分報告2件

一般質問

市民クラブ

新たな文化施設の進捗

問 県庁跡地で本格的な埋蔵物の確認調査が行われ、完成時期がさらに遅れる場合でも、新たな文化施設を現市庁舎跡地へ整備する考えはないか。

答 新たな文化施設を現市庁舎跡地に建設する場合、建物の完成は令和8年度になるのではないかと考えており、現時点においても県庁舎跡地のほうが早期に完成できると見込んでいます。しかし、県が実施する確認調査の結果次第では、さらなる調査が必要となることから、その動向を注視しながら、現市庁舎跡地で整備した場合の完成時期も念頭に置いた上で判断していきたい。本市としても、新たな文化施設の整備を着実に進め、できるだけ早く提供できるように努めていく。

光回線整備の検討状況

問 光回線を利用した高速通信が利用できない外海地区など一部の地域の整備について、今後どのように進めるのか。

答 新たな重点プロジェクトである「まちをつなげるプロジェクト」において、本市が一定の財政負担を行い、市内全域を超高速度インターネットサービスの提供エリアとする取り組みを掲げているが、その環境整備のための事業費は相当な額になると想定している。今年度から、新たな国の施策として、民間事業者が行う環境整備にも補助が行われることとなったことから、この補助に採択される事業計画策定のため、整備主体や有利な地方債の活用などについて、今後具体的な検討を進めていきたい。

長崎開港450周年記念事業

問 令和3年4月に長崎開港450周年の記念日を迎えるに当たり、今後の取り組みを伺いたい。

答 本市では、港とともに歩んできた長崎の歴史と魅力を発信するため、記念事業を実施予定であり、8月22日に県、市、商工会議所を主体に、港に関する関係機関などからなる官民一体となった長崎開港450周年記念事業実行委員会を設立した。

今後、ワーキンググループにおいて、長崎に愛着を持てるようなイベントの検討や、次の50年を見据えた港の活かし方や海の楽しみ方を含めた長崎の港の役割や将来像の検討などの取り組みを進めたい。

自民創生

公用車の青パト化

問 本市で推進している青パト活動の現状を伺いたい。また、本市の公用車を可能な限り、青パト化する考えはないか。

答 防犯活動の一つである青パトによる自主防犯パトロールは、現在、18の民間団体が活動しており、9月下旬には、さらに1団体が活動を開始する予定である。

本市では、公用車16台を青パト車両として登録しており、これらを活用することで、防犯活動の充実のみならず、職員の防犯意識や交通安全意識の醸成にもつなげていく必要があるため、今後も公用車による青パト活動の徹底を図りたい。また、青パト車両に登録していない公用車についても、順次、拡大に努めていきたい。



▲公用車の青パト車両

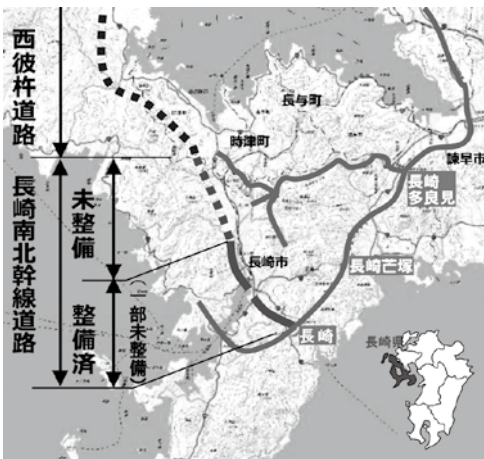
長崎南北幹線道路の整備促進

問 未整備区間の早期事業化について、現在の進捗を伺いたい。

答 長崎南北幹線道路は、市北部の慢性的な交通渋滞の緩和だけでなく、西彼杵道路と一体となり、交流人口の拡大や災害時のダブルネットワークとして非常に重要な路線であり、その早期事業化は喫緊の課題と認識している。

本市としても国や県に対し、要望活動を継続的に実施してきた結果、8月27日に県知事から、未整備区間の茂里町から時津町までの区間についてルート選定組織を立ち上げ、早期の新規事業化を目指すとの回答があり、事業化に向けて大きく前進した。

今後とも関係者の方々と連携し、一日も早い事業化を目指して積極的に推進していきたい。



高齢者の投票率向上への取り組み

問 高齢者が増加する中、投票所への移動が困難な方に対する具体的な支援策にどう取り組んでいくのか。

答 投票所の立地条件などが原因で、実際の投票行動に結びついていない高齢者もいるものと認識している。現在、一定の要件を満たした方については、老人ホーム等での不在者投票や、郵便投票の制度がある。投票所への移動支援や巡回型の期日前投票所については、特に高齢や障害のある有権者の投票機会の確保に有効であるが、どのようなやり方が効果的であるかなど、課題を整理する必要がある。

また、大型商業施設での期日前投票所開設について、啓発効果も期待できることから、引き続き検討していきたい。



幼児教育・保育無償化と副食費の取り扱い

問 10月からの幼児教育・保育の無償化への対応と副食費を完全無償化する考えがないか伺いたい。

答 無償化への対応として、国の負担軽減策に加え、本市独自の支援策を講じることとしているが、これまで保育利用の子どもに係る保育料に含まれていた副食費は無償化の対象外で、各施設が徴収するものとなっている。なお、滞納が発生した場合は、施設と本市が一緒になって、その改善策を検討していきたいと考えている。

副食費を完全無償化するためには、多額の財源を必要とすることから、現時点での実施は困難であると考えているが、子育て支援施策の充実のため、効果的な支援策について検討を進めていきたい。

明政クラブ

宅地開発に伴う道路のあり方

問 青山町の約50年前に開発された住宅団地において、生活道路が突然通行できなくなるといふ懸念が生じているが、本市の見解を伺いたい。

答 これは、道路が過去の宅地開発で整備されたものの、本市に移管されず現在でも民間所有の私道であるため、所有者と利用者の民事上の問題であり、行政が介入できないものと判断している。

しかし、この私道が通行禁止となった場合、他に利用できる道路の道幅が狭く、一般車両や介護車両、ごみ収集

車等の通行に支障を来すことから、現在、より詳細な状況を確認するため、地元自治会や関係者と現地立ち合いを行っている。

今後も、日常生活に影響を及ぼさないよう、可能な対応策を模索していきたい。

パートナーシップ宣誓制度

問 9月2日に導入したパートナーシップ宣誓制度について、その意義や効果をどう考えているのか。

答 性的少数者は、市民の認識と理解の不足、生活環境や社会制度の未整備により、社会生活上のさまざまな場面で支障を抱えている現状がある。これらを軽減するため、本市では性的少数者のカップルが二人の



関係性を市長に宣誓した事実を証明する、パートナーシップ宣誓制度を導入した。これは法律上の効果はないものの、人権の視点において性の多様性が尊重される社会の構築に向けた取り組みであると考えており、制度導入により性的少数者について市民が知る機会が増え、性の多様性についての周知につながると考えている。

公明党

長崎県防空壕本部(立山防空壕)の史跡指定

問 遺構の保存・活用のため、国指定史跡長崎原爆遺跡への追加指定を目指すべきだと考えるが、見解を伺いたい。

答 長崎県防空壕本部跡は、県の防空施設の中心的役割を担った施設であり、当時の社会的状況を示す保存すべき被爆建造物等として位置づけている。本市では、平成17年にこの遺構の保存整備工事を行い、一般公開しているが、公開から13年が経過し、コンクリート壁や内装などの劣化が進んでいる。被爆の実相を伝える被爆遺構の存在は、「物言わぬ語り部」としてその重みを増しており、長崎県防空壕本部跡の保存と活用を推進するため、国指定史跡長崎原爆遺跡への追加指定について、有識者で構成する審議会の意見を伺いながら、文化庁と協議していきたい。

核兵器禁止条約締結国会議の誘致

問 第1回締結国会議の開催を誘致すべきと考えるが見解を伺いたい。

答 核兵器禁止条約が国連で採択され、条約発効に必要な50カ国の批准に対し、現在26カ国が批准している状況である。

第1回締約国会議が被爆地長崎で開催できれば、各国政府の代表が直接被爆の実相に触れる機会となるとともに、ここ長崎から核兵器禁止の強いメッセージを世界に発信することで、国際社会の動きを加速させることが期待できると考えている。

しかし、締約国会議の規模や会期、開催地の決定方法などの詳細が明らかになっていないことから、まずは情報収集に努め、可能性のあるものについて積極的に働きかけを行いたい。

8050問題(中高年のひきこもり)への対応

問 80代の高齢の親が50代のひきこもりの子どもの面倒を見る「8050問題」について、本市の対応を伺いたい。

答 中高年のひきこもりの背景には、本人や家族の病気、経済的困窮など複雑に絡み合った問題があり、社会的に孤立するケースも多いことから、行政と医療・保健・福祉などの関係機関が連携し、地域全体で支援する必要がある。

本市では、電話や面接での相談対応や家族学習会などのひきこもり支援のほか、多機能型地域包括支援センターを市内2カ所に設置し、関係機関とも連携した支援を行っている。
今後とも医療機関や地域包括支援セン

ター、地域の関係者等と連携・協力し、対象者に寄り添いながら支援していきたい。

令和長崎

家賃が安いまちづくり

問 人口減少の原因の一つに、本市の建物の容積率と高さ制限による住宅の販売価格や家賃の上昇があると考えているが、その緩和策の検討状況を伺いたい。

答 本市では、安全で暮らしやすい場所に都市機能や居住機能を誘導するため、容積率の緩和など、土地利用規制緩和の検討を進めている。

昨年度までに、元船町地区や中島川周辺地区などにおいて高さ規制の撤廃や容積率の緩和などの見直しを先行的に実施している。

現在、重点プロジェクトである「住みよかプロジェクト」により、短期的に成果が得られる取り組みを強化しており、住みやすい環境づくり、容積率の緩和などに継続的に取り組んでいきたい。

スポーツ振興のための支援策

問 本市の競技力底上げのため、ジュニア世代の競技力向上の支援の取り組みについて伺いたい。

答 本市では、ジュニア世代を対象とする選抜合同練習や強化合宿、指導者招致など長崎市スポーツ協会の加盟団体が行う、競技力向上のための取り組みに対し補助を行っており、普段の練習だけでは得られない経験を積むことで、競技力向上につながっていると考えている。

また、中学生を海外へ派遣するスポーツ交流を行っていただくほか、海外代表チームのキャンプを受け入れることで、子ども達が世界レベルのスポーツにふれる機会をつくっている。

今後ともジュニア選手の手育成と指導者の指導力向上を支援していく。



日本共産党

市営住宅の計画修繕

問 国が示している修繕周期表に沿った市営住宅の計画修繕を遅滞なく実施しているのか。また、市営住宅のエレベーター設置について見解を伺いたい。

答 国が定める指針では公営住宅の修繕周期が示されており、壊れる前に計画的に修繕を行う予防保全的管理が推

奨されている。

本市の市営住宅では、入居者の要望や指摘などを踏まえた修繕や、定期的な点検に基づく外壁や屋根、浴室などの修繕を5カ年計画で実施している。今後遅滞なく修繕を実施するとともに、予防保全的管理に努めていきたい。

また、エレベーターの設置は、住宅の耐用年数等も勘案して、設置が必要な場所を検討し、実施していきたい。

放課後児童クラブの法人運営への移行

問 まだ法人運営へ移行していない放課後児童クラブへの本市の対応について伺いたい。

答 本市では法人による運営を推進しており、現在約8割の放課後児童クラブが移行している。移行過程においては、市の方針について、運営委員会、保護者など関係者に丁寧な説明を行い、移行後についても、保護者の意見が反映できる仕組みづくりへの働きかけを行っている。

また、法人による新たな施設整備を支援するため、今年度から放課後児童クラブ施設整備事業費補助金を創設した。

今後とも、放課後児童クラブの継続的・安定的な運営のため、法人による運営への移行を積極的に支援していきたい。

常任委員会における審査の主な内容

総務委員会

防災行政無線の戸別受信機 第1回申し込み受付分が令和2年3月に配付されます

第122号議案「財産の取得については、令和2年4月からの防災行政無線のデジタル化に合わせ、戸別受信機を取得しようとするものです。今回取得する戸別受信機には、災害時の要支援者及び支援者などのうち希望者に無償貸与するものと、それ以外の希望者へ有償で譲渡するものがあります。

委員会では、今回取得する戸別受信機の配付時期、購入希望の追加募集を行うスケジュールと周知方法、発注から納品まで5カ月から6カ月という長い期間が必要であることから、戸別受信機を一定量ストックするなど、今後の購入希望者に早急に対応するための取り組みを行う考えの有無について質すなど、内容検討の結果、異議なく原案を可決しました。



▲配付する戸別受信機

教育厚生委員会

障害者福祉施設整備事業費補助金など、令和元年度一般会計補正予算(教育厚生委員会所管分)を可決

民生費において、障害者支援施設等の建て替え等に係る施設整備に対して助成するための障害者福祉施設整備事業費補助金が計上されました。

委員会では、耐用年数に達していない建物の移転整備に対して補助金を交付する妥当性、グループホームの整備地における住民との合意形成の有無について質すなど慎重に審査しました。

次に、教育費において、校舎が老朽化している西町小学校の改築に向けた調査等を実施するため、小学校整備事業費が計上されました。

委員会では、校舎の建て替えをPFI手法で行う考えの有無について質すなど、内容検討の結果、異議なく原案を可決しました。



▲西町小学校

環境経済委員会

長崎(小島)養生所跡資料館を設置します

第117号議案「長崎市博物館条例の一部を改正する条例」は、西小島1丁目地内に整備中の長崎(小島)養生所跡資料館が近く完成するのに伴い、その名称、位置等を定めようとするものです。

委員会では、資料館が併設される仁田佐古小学校新校舎の周辺道路整備の進捗状況、資料館の来場者専用駐車場がないことへの対応や地域への説明状況、小学校に併設される資料館の防犯対策、資料館の入場者数増加に向けた長崎大学をはじめとした医療関係機関との協議状況について質すなど、内容検討の結果、異議なく原案を可決しました。



▲資料館では石垣の一部を露出展示予定

建設水道委員会

茂里町地下駐車場の再整備に伴い、隣接地に仮設駐車場を設置します

第119号議案「長崎市駐車場条例の一部を改正する条例」は、茂里町地下駐車場の再整備期間中の駐車機能を確保するため、令和2年4月から旧クリンセンター多目的広場を仮設駐車場として供用することに伴い、その名称、位置、管理の方法、使用料の額等を変更しようとするものです。

委員会では、再整備する駐車場及び仮設駐車場の整備計画の妥当性、関係者との調整状況について質すなど慎重に審査しました。

その結果、夜間の時間駐車が可能となり駐車料金が現行より下がること、さまざまな関係団体との協議を経ていることなどから、本議案に賛同したいとの賛成意見が出され、異議なく原案を可決しました。



▲仮設駐車場の位置図

議 決 結 果 (予 算 ・ 条 例 な ど)

議案番号	件 名	付託委員会	議決結果
第104号	令和元年度長崎市一般会計補正予算（第3号）	所管の各常任委員会	原案可決
第105号	令和元年度長崎市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	教 育 厚 生	〃
第106号	令和元年度長崎市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	教 育 厚 生	〃
第109号	出島メッセ長崎条例	環 境 経 済	〃
第110号	長崎市手数料条例の一部を改正する条例	建 設 水 道	〃
第111号	長崎市立小学校条例の一部を改正する条例	教 育 厚 生	〃
第112号	附属機関の委員の任期等に係る規定を整備するための関係条例の整備に関する条例	総 務	〃
第113号	長崎市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	教 育 厚 生	〃
第114号	長崎市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	教 育 厚 生	〃
第115号	長崎市市民センター条例の一部を改正する条例	総 務	〃
第116号	長崎原爆資料館条例及び長崎市科学館条例の一部を改正する条例	教 育 厚 生	〃
第117号	長崎市博物館条例の一部を改正する条例	環 境 経 済	〃
第118号	長崎市旧居留地建造物条例等の一部を改正する条例	総 務	〃
第119号	長崎市駐車場条例の一部を改正する条例	建 設 水 道	〃
第120号	長崎市水道事業給水条例の一部を改正する条例	建 設 水 道	〃
第121号	長崎市消防団員の任免等に関する条例等の一部を改正する条例	総 務	〃
第122号	財産の取得について（戸別受信機）	総 務	〃
第123号	市道路線の認定について（認定1件）	建 設 水 道	〃
第124号	工事の請負契約の締結について（長崎市総合消防情報システム更新工事）	総 務	〃
第125号	工事の請負契約の一部変更について（市道江平浜平線トンネル新設工事）	建 設 水 道	〃
第126号	工事の請負契約の一部変更について （（仮称）稲佐山公園斜面輸送施設稲佐岳駅舎新築主体工事）	建 設 水 道	〃
第127号	令和元年度長崎市一般会計補正予算（第4号）	所管の各常任委員会	〃
第128号	長崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	教 育 厚 生	〃
第129号	野母崎炭酸温泉 A l e g a 軍艦島条例を廃止する条例	環 境 経 済	〃
第130号	長崎市立認定こども園長崎幼稚園条例の一部を改正する条例	教 育 厚 生	〃
第131号	長崎市立高島幼稚園条例の一部を改正する条例	教 育 厚 生	〃

全ての議決結果は、長崎市議会ホームページでご覧になれます。

人 事

次の人事案件について同意することに決定しました。

▼教育委員会の委員

桑原亜矢子 氏（新任）

松本 朋子 氏（新任）

▼固定資産評価審査委員会の委員

山内 邦彦 氏（再任）

▼人権擁護委員の候補者

片山シノブ 氏（再任）

栗山 洋子 氏（再任）

田中久美子 氏（新任）

永田 康文 氏（再任）

請 願

委員会審査を行った請願は、次のとおりです。

▼生活保護基準引き下げ中止を求める請願（教育厚生委員会・不採択）

陳 情

委員会審査を行った陳情は、次のとおりです。

総務委員会

▼国に対し「10月からの消費税10%中止を求める意見書」の提出を求める陳情

教育厚生委員会

▼養生所（長崎）医学校等遺跡の保存・保護・整備・公開に関する陳情Ⅲ

環境経済委員会

▼長崎奉行所西役所等遺跡群の調査・保存・活用・公開・整備に関する陳情Ⅳ

議員派遣

- ▼夜景サミット2019 in上海への参加のため、議員を派遣しました。
- ・派遣期間 令和元年7月25日～28日
- ・派遣場所 中国・上海市
- ・派遣議員 毎熊政直

議会の動き

▼市議会BCPに基づく防災訓練を実施(9月2日) 平成28年9月に策定した「長崎市議会BCP(業務継続計画)～災害時行動計画～」に基づき、災害対応に対する意識の醸成と災害時の行動の習得を図るため、本会議中に長崎市内において最大震度6弱の地震が起こった想定で防災訓練を実施しました。

訓練には議員、市長や職員が参加し、議場からの避難等を行いました。



▲防災訓練の様子

その他

▼請負等に関する辞退届の提出 長崎市議会議員政治倫理条例に基づき、8月5日に池田章子議員から辞退届が提出されました。

お問い合わせ 議会事務局総務課
電話 095-829-11198

行政視察

各常任委員会の付託案件に係る調査事項について、次のとおり行政視察を行いました。

委員会名・調査目的	派遣委員	期間	調査都市等・主な項目
総務委員会 行財政の効率的運営及び重要施策の推進について	岩永 敏博、竹田 雄亮 平野 剛、山本 信幸 吉原 孝	8月21日 ～23日	藤沢市：市民活動の推進など 富士市：まちづくり協議会の取り組みなど 沼津市：定住促進策・人口減少対策
	木森 俊也、井上 重久 佐藤 正洋、土屋 美紀 筒井 正興	7月22日 ～24日	金沢市：地域コミュニティ活性化推進計画事業など 宇都宮市：まちづくり活動応援事業など
教育厚生委員会 民生福祉、保健行政及び教育行政の充実について	久 八寸志、池田 章子 梅原 和喜、中西 敦信 林 広文	7月31日 ～8月2日	立川市：学校給食センターの整備・運営など 松本市：健康寿命延伸都市・松本 足立区：足立区子どもの貧困対策実施計画など
	相川 和彦、浅田 五郎 柿田 正、東 竜也 山口まさよし	8月21日 ～23日	明石市：待機児童の解消など 高槻市：高槻市ますます元気！健幸ポイント事業など 寝屋川市：寝屋川市立子育てリフレッシュ館(RELATTO)
環境経済委員会 環境行政の充実及び地域産業の活性化について	中村 俊介、大石ふみき 福澤 照充、毎熊 政直 向山 宗子	8月21日 ～23日	足利市：映像のまち構想など 安曇野市：安曇野やさいスイーツプロジェクトなど
	平 たけし、奥村 修計 西田みのぶ、野口 達也 深堀 義昭	8月21日 ～23日	東京二十三区清掃一部事務組合：ごみ処理事業 釧路市：移住・長期滞在事業など 台東区：台東デザイナーズビレッジ
建設水道委員会 都市基盤及び住環境の整備のさらなる充実について	中里 泰則、五輪 清隆 梅元 建治、山崎 猛 山谷よしひろ	7月24日 ～26日	函館市：北海道新幹線開業に伴うまちづくりなど 青森市：新幹線を生かしたまちづくり 弘前市：景観づくりの取り組み
	岩永 福子、内田 隆英 幸 大助、武次 良治 永尾 春文	7月22日 ～24日	新潟市：新たな交通システム(BRT)の導入と新バスシステムの取り組み 松本市：歴史的風致維持向上計画の取り組みなど

行政視察報告書はホームページでご覧になれます。